

主題名「自分に対して正直に」

(A 正直・誠実)

教材名「あかいセミ」

<本授業の意図>

○誰も過ちを犯してしまうことがあるが、過ちを犯してしまった後に、どのような行動をとるのがとても大切なことである。過ちを犯した際には素直に反省し、正直に伝えることで自分自身を改めようとする姿を目指し、自分自身の気持ちに対しても正直に行動することの大切さを実感できるようにした授業である。



①「正直」と聞いて、どんなことをイメージしますか？



②びしょりと汗をかいて朝、目が覚めた時、ぼくはどのような気持ちだったのだろうか？



③お母さんに消しゴムを盗んだことを正直に話そうとした時、ぼくはどのようなことを考えていたのだろうか？



④正直は二つ種類があるんだね！
・間違った時に嘘をつかない。
・自分の気持ちに正直になって行動する。



⑤教師の説話を聞いてみよう！
「運動会のダンスの練習のときに…」



⑥今までの自分の生活を振り返って、正直に話した経験を書いてみよう！



⑦自分の振り返りを発表してみよう！
「お母さんに、やってはいけないと言われたゲームをやった時に、『やっていない』と、一度嘘をついたけれど、嘘をついたことを正直に話したら許してくれた。そしたら、すっきりした。」

<「深い学び」の実現に向けての手だて>

- ・書く活動の工夫 ⇒ 教師の説話を展開(後半)に行くことで、児童が自分自身の経験を振り返る視点をもつようにする。
- ⇒ 自分に嘘をつかずに正直に言えたことがあるかを、自分自身の経験だけではなく、友達や家族の行為に着目したり、テレビ等で見たことや聞いたこと、知っていることなどに着目したりして、考えてもよいことを伝えることで、多角的に自分の生活を振り返ることができるようにする。

<主な「考え」の変容>

- ・今までに正直に話したことはありますか。 ⇒ 「友達に嘘をついて喧嘩をしたけれど、後から正直に言えてことで仲直りができた。」など